



福島医発第627号(地)

令和3年 5月28日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

プロポフォール製剤が安定供給されるまでの対応について

今般、標記について厚生労働省医政局経済課より日本医師会を通じて、別紙のとおり周知依頼がありました。

プロポフォール製剤につきましては、国内外共に新型コロナウイルス感染症による人工呼吸器を必要とする重症患者の増加に伴い、需要が大幅に増加しており、それに伴い、令和3年5月以降、プロポフォール製剤の製造販売承認を有する一部の製造販売業者において、供給の確保を目的とした出荷調整等の対応が行われているところです。

厚生労働省においては、プロポフォール製剤の製造販売業者に対して早期の安定供給再開に向けて生産増強等について依頼しているとのことですが、国内外の情勢を踏まえると、大幅な生産増強が可能となる時期の見通しが難しく、また、今後ミダゾラム等の代替薬についても一時的に需要が増加する可能性があります。

こうした状況を踏まえて、令和3年5月14日には、公益社団法人日本麻酔科学会から別添のとおり、臨床上問題なければ麻酔の維持は揮発性吸入麻酔薬を考慮するといった旨の案内がなされています。

本件は、プロポフォール製剤の安定供給が再開されるまでの間の対応について、「プロポフォール製剤及びその代替薬については、返品が生じないように必要量に見合う量のみの購入をお願いしたいこと」及び「プロポフォール製剤及びその代替薬について、医療機関における、より一層の適正使用を依頼するものです。例えば、臨床上問題なければ麻酔の維持においては揮発性吸入麻酔薬の使用を考慮していただきたいこと」の2点が示されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月17日

都道府県医師会 担当理事 殿

日本医師会常任理事
宮川 政昭
(公印省略)

プロポフォール製剤が安定供給されるまでの対応について（周知依頼）

今般、厚生労働省医政局経済課より、各都道府県等衛生主管部（局）宛に標記の事務連絡が発出されるとともに、本会に対しても周知方依頼がありました。

プロポフォール製剤につきましては、国内外共に新型コロナウイルス感染症による人工呼吸器を必要とする重症患者の増加に伴い、需要が大幅に増加しており、それに伴い、令和3年5月以降、プロポフォール製剤の製造販売承認を有する一部の製造販売業者において、供給の確保を目的とした出荷調整等の対応が行われているところです。

厚生労働省においては、プロポフォール製剤の製造販売業者に対して早期の安定供給再開に向けて生産増強等について依頼しているとのことですが、国内外の情勢を踏まえると、大幅な生産増強が可能となる時期の見通しが難しく、また、今後ミダゾラム等の代替薬についても一時的に需要が増加する可能性がございます。

こうした状況を踏まえて、令和3年5月14日には、公益社団法人日本麻酔科学会から別添のとおり、臨床上問題なければ麻酔の維持は揮発性吸入麻酔薬を考慮するといった旨の案内がなされています。

本事務連絡は、プロポフォール製剤の安定供給が再開されるまでの間の対応について、「プロポフォール製剤及びその代替薬については、返品が生じないように必要量に見合う量のみを購入をお願いしたいこと」及び「プロポフォール製剤及びその代替薬について、医療機関における、より一層の適正使用をお願いしたいこと。例えば、臨床上問題なければ麻酔の維持においては揮発性吸入麻酔薬の使用を考慮していただきたいこと」の2点が示されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会管下関係医療機関等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和3年5月14日

公益社団法人日本医師会 御中

厚生労働省医政局経済課

プロポフォール製剤が安定供給されるまでの対応について（周知依頼）

厚生労働行政について、平素より多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
今般、標記について、各都道府県・保健所設置市・特別区衛生主管部（局）宛別添写しのとおり連絡いたしましたので、貴会会員への周知につき御配慮いただきますようお願いいたします。

事務連絡
令和3年5月14日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保健所設置市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局経済課

プロポフォール製剤が安定供給されるまでの対応について（周知依頼）

今般、国内外共に新型コロナウイルス感染症による人工呼吸器を必要とする重症患者の増加に伴い、需要が大幅に増加しており、それに伴い、令和3年5月以降、プロポフォール製剤の製造販売承認を有する製造販売業者において、供給の確保を目的とした出荷調整等の対応が行われているところです。

厚生労働省においては、プロポフォール製剤の製造販売業者に対して早期の安定供給再開に向けて生産増強等について依頼しているところですが、国内外の情勢を踏まえると、大幅な生産増強が可能となる時期の見通しが難しく、また、今後ミダゾラム等の代替薬についても一時的に需要が増加する可能性がございます。

こういった状況を踏まえて、令和3年5月14日には、公益社団法人日本麻酔科学会から別添のとおり、臨床上問題なければ麻酔の維持は揮発性吸入麻酔薬を考慮するという旨の案内がなされています。

つきましては、プロポフォール製剤の安定供給が再開されるまでの間の対応について、下記のことについて、貴管内医療機関に周知をお願いいたします。

記

1. プロポフォール製剤及びその代替薬については、返品が生じないように必要量に見合う量のための購入をお願いしたいこと。
2. プロポフォール製剤及びその代替薬について、医療機関における、より一層の適正使用をお願いしたいこと。例えば、臨床上問題なければ麻酔の維持においては揮発性吸入麻酔薬の使用を考慮していただきたいこと。

2021 年 5 月 14 日

プロポフォール静注1%50mL「マルイシ」(製造販売元:丸石製薬)
の欠品について

公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 小坂橋俊哉

プロポフォール製剤(丸石製薬、アスペンジャパン)につきまして、2021 年 5 月 10 日付で案内しましたように、出荷調整がなされているところです。

しかし、その後の国内外の感染拡大により、プロポフォール静注1%50mL「マルイシ」(製造販売元:丸石製薬)は出荷調整後も ICU での需要が大幅に増えており、欠品が生じる見込みです。

また、先般ご報告させていただきましたプロポフォール静注1%20mL「マルイシ」、プロポフォール静注1%100mL「マルイシ」、プロポフォール静注2%50mL「マルイシ」、並びにドルミカム注射液10mgに関しましては、引き続き、供給確保・欠品回避を目的に出荷調整を継続します。

なお、プロポフォール静注1%50mL「マルイシ」に関しましては、主に ICU での使用を優先し、手術室での使用は極力控えてください。手術室ではプロポフォール静注1%20mL「マルイシ」を使用し、臨床上問題なければ麻酔の維持は揮発性吸入麻酔薬を考慮するなど、限られた医療資源で難局を乗り越えるべく、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

欠品および調整解除の時期につきましては、確定次第改めて周知させていただきます。

以上、ご理解の上、ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。